

平成29年度

## 委員会 研究ならび事業報告

部・委員会名	委員長	酒井 健次	(天龍中学校)
体育・保健体育科	副委員長	宮寄 聡	(大鹿小学校)
(委員数 8名)	会計	佐川 尚吾	(阿智第二小学校)
	記録	宇佐美 雅樹	(大鹿小学校)

研究テーマ	一人一人の子どもが自ら運動の楽しさを味わい深めていく体育学習を求めて～仲間とかかわりながら、教材の本質に触れる探求的な学びを求めて～
研究内容 (箇条書き)	<p>【視点1】「単元計画」から「単元デザイン」へのアプローチ</p> <p>【視点2】「学び合い、高め合い」(協働学習)への評価</p> <p>【視点3】「学び合い、高め合い」が成立する教材化</p>
成果と課題 (箇条書き)	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートで生徒の学習歴や技に対する意識を把握すること、学習カードの記述から学習問題と学習課題を問い直すことにより、中心技の習得率が9割となった。</li> <li>・少人数(2～3名)で練習することにより、情報交換したりアドバイスをしたりする姿が多く見られるようになった。</li> <li>・追究の視点を明確にしたことで、アドバイスがより具体的になり技術の習得につながった。</li> <li>・マットドリルを毎時間の最初に位置づけることで、協働学習の場面で技能差を必要以上に意識することなく、互いに高め合う姿につながった。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働学習を確実に授業展開又は学習活動へ位置づけ、それを活性化するための適切な指導と評価を行っていく。</li> </ul>
公開授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校『マット運動(器械運動)』から授業展開を構想</li> <li>・生徒の実態に応じて「側方倒立回転」を中心技に据え、小グループで個々の課題に沿って練習を進めることで、マット運動の本質に触れた楽しさを実感する生徒の変容を探っていく。</li> <li>・10月31日(火) 高森中学校 1年4組「マット運動」 参観者18名(一般10名)</li> <li>・授業後の研究会で、下伊那郡体育研究会長の熊谷恒雄先生(丸山小長)より、ご指導をいただく。</li> </ul>
他 諸活動 研修会 講演会 冊子作成 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月7日(木) 中学校教育課程研究協議会での実技講習会 会場: 竜東中学校体育館 参会者53名(一般47名) 内容 ①体づくり運動の指導 ②剣道の指導 など</li> <li>・10月18日(金) 小学校教育課程研究協議会での実技講習会 会場: 喬木第二小学校体育館 参会者 60名(一般52名) 内容 ①ゲーム・ボール運動の指導 ②水泳 ③体づくり運動 など</li> </ul>